

(参考様式4)

事業所名 グループホーム菜の花 しのろ館

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 2 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	意向の確認は毎年実施されているが、ご家族にとって、最後の迎え方は戸惑いが生じてしまう。今後は、今まで以上に、医療を含めて情報共有(発信)を行い、ご本人、ご家族の不安の軽減に努めて行く必要がある	・状態に関わらず定期的に、ご本人、ご家族、医師、ホームとで、情報を共有する機会を増やす ※毎年の意向確認の他に、状態問わず医療見解を追加 ※往診内容の定期報告(伝達方法の確立、固定) ※看取りに関しての理解促進	①「最後の迎え方の意向書」を各入居者様、誕生付きに更新。この際、医師の見解を、状態問わず確認し、医療的な視点の伝達を口答にて行う ※B3シートの更新に合わせて、意向の確認を行う ②毎月の在宅確認表に往診内容を記載し、現状の、医療視点を伝える ③運営推進会議にて「看取り」をテーマとして機会を設ける ※年1回	R5.3.1 ~R6.2.28
2	36 48	コロナ禍が継続する中で、以前と比較し外での活動が減少している	・敷地内の屋外(駐車場)での活動を日常的に行う	①好天時の近隣散策 ②敷地内スペースを利用したレクリエーションの企画 ※花見 お茶会 バーベキュー等 ③マスク着用の上、出会う方に挨拶をすることで地域との関わりを持つ	R5.3.1 ~R6.2.28
3					
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。